



平成 25 年 2 月 26 日

各 位

会 社 名 J Xホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 松下 功夫
コード番号 5020 東・大・名証第1部
問合せ先 財務IR部IRグループマネージャー
山本 真義
(電話番号 03-6275-5009)

当社子会社と出光興産(株)との石油製品相互供給取引に関する基本合意について

当社子会社のJ X日鉱日石エネルギー株式会社(社長:一色誠一、以下「J Xエネルギー」)は、出光興産株式会社(社長:中野 和久、以下「出光興産」)と、2014年4月以降、約230万KL/年の石油製品相互供給取引を行うことについて、本日、基本合意しましたので、お知らせいたします。

J Xエネルギーは、2014年3月末に室蘭製油所の原油処理を停止し、同年6月より石化工場への転換を予定していますが、今般の相互供給取引により、北海道地区における供給体制を強化し、今後とも石油製品の安定供給に努めてまいります。

なお、今回の基本合意に伴う当期(平成25年3月期)連結業績への影響はありません。

以 上

「添付資料」出光興産(株)との石油製品相互供給取引に関する基本合意について

各位

出光興産(株)との石油製品相互供給取引に関する基本合意について

当社(社長:一色 誠一)は、出光興産株式会社(社長:中野 和久、以下「出光興産」)と、2014年4月以降、約230万KL/年の石油製品相互供給取引を行うことについて、本日、基本合意しましたので、下記の通りお知らせいたします。

当社と出光興産は、1996年の物流提携開始以降、国内石油製品需要の減少に対応するため、物流合理化を中心とする提携関係を維持・発展させ、現在は全国で製品相互融通を実施する等、それぞれの供給体制の効率化を図ってまいりました。

当社は、2014年3月末に室蘭製油所の原油処理を停止し、同年6月より石化工場への転換を予定していますが、今般の相互供給取引により、北海道地区における供給体制を強化し、今後とも石油製品の安定供給に努めてまいります。

記

【石油製品相互供給取引の内容】

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| (1)開始時期 | 2014年4月 |
| (2)対象数量 | 相互に、石油製品 約230万KL/年(約4万BD) |
| (3)製品出荷基地 | JX日鉱日石エネルギー 大分製油所
出光興産 北海道製油所 |

以上